

【目指す人材像】

人と自然の共生するまちづくり・地域づくりを市民とともに実現する高度専門職業人

『緑環境景観
マネジメント技術者』

『安全管理の専門家』

『活用デザインの専門家』

『施業マネジメントの専門家』

充実した就職支援

就職支援活動

進路希望分野教員による個人面談(1年次)

●進路希望分野教員が進路希望に応じて指導

実践演習担当教員による指導(2年次)

●演習教員による指導指導

演習経験者キャンパスキャリアセンターによる就職活動支援(AGC)

●就職活動経験者 ●OBOGとの合戦 ●企業実務の提供

修了後の進路

- 緑環境に関する行政現場において中心的な立場で政策を企画立案し、市民とともに施策を展開していく**地方公務員の上級造園職**など
- 緑環境のモニタリング、創出、維持保全プロジェクトを中心的な立場で推進していく**環境系のコンサルタント業、造園施工業**など
- 緑環境に関するプランニングやデザインのプロジェクトを中心的な立場で推進していく**建設系のコンサルタント業、地方公務員の上級造園職、造園施工業**など
- 緑環境を生かした環境ビジネスや環境活動プロジェクトを企業・団体の中心的な立場で推進し、環境活動を発展させる**C S R部門や環境部門の職員**
- 公園施設、観光施設等において効率的・効率的な緑環境の総合管理運営業務を中心的な立場で推進していく**地方公務員の上級造園職、施設管理者としての造園施工業・造園管理系の企業や団体**など



地方公務員の上級造園職としての就職 緑環境の総合管理運営 造園施工業としての就職 造園施工業としての就職 造園施工業としての就職 造園施工業としての就職 造園施工業としての就職

取得可能な資格*

- ・自然再生士補
- ・造園士補
- ・二級ビオトープ施工管理士、計画管理士

*これらの資格は、修了した履修科目により受験科目の免除・優先資格が認められる資格です。

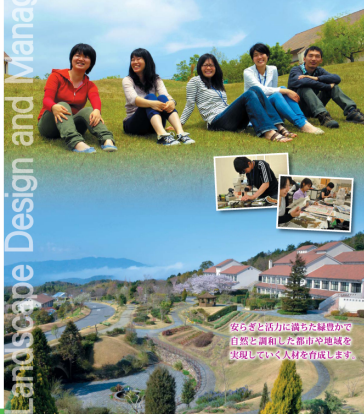


公立大学法人
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科(専門職)
〒656-1726 兵庫県淡路市野宮京盤954-2
(兵庫県立淡路景観園芸学校・兵庫県立大学淡路緑環境キャンパス内) 内
TEL 0799-82-3131 FAX 0799-82-3124



兵庫県立大学大学院

緑環境景観マネジメント研究科(専門職)



安らぎと活力に満ちた緑豊かで
自然と調和した都市や地域を
実現していく人材を育成します。

研究科長メッセージ



公立大学法人 兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科
研究科長 原 健二

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科は、兵庫県立淡路景観園芸学校を前身として平成21年4月に開設された。本研究科は、良好な景観形成に重要な役割を果たす「緑環境」に着目し、景観形成に関する具体的な理論と技術力をも、安らぎと活力に満ちた緑豊かで自然と調和した都市や地域を市民、NPO、企業、団体等とともに実現していく「高度専門職業人としての「緑環境景観マネジメント技術者」を育成すること」をその教育目標としている。

ここでいう「緑環境」とは、生き物である植物を中心とした環境のことを幅広く指しています。このような、緑環境を創造・持続・発展させていくためには、建築や土木測量等のマネジメントとは異なり、時間軸を見ながら創造・発展していくデザイン・マネジメント能力が必要で、緑環境に関するストックが、近年増大してきたなかで、このようなデザイン・マネジメント能力を持った専門職業人のニーズが高まっています。

このような人材育成ニーズに応えるため、カリキュラムでは、理論教育はもちろんのこと、それを実践に活かす演習にも力を入れ、実務経験豊富な実務家教員と十分な研究実績を有する研究者教員の協働のもと、現場での演習を中心とした教育を通じて、総合的かつ実践的な能力を身に付けることを教育の理念としています。また、全体が一般公開され、それがそのまま演習フィールドとなる美しい緑環境のキャンパス、兵庫県行政組織との連携体制、学生の良好な学習環境を確保するスタジオリビングの教育施設を備え皆さんをお迎えし、これからの緑環境景観マネジメントを創っていく人材教育の新しい使命を全国に発信していきたいと考えております。

【取得学位】 緑環境景観マネジメント修士(専門職)

Master of Landscape Design and Management

【修業年限】 2年

【入学生員】 20名

2年間の
少数精鋭教育

多様な専攻分野、社会経験、
修業の学生に緑環境景観
の博士としての教育が
行われます。

プロとしての
思想・資質の教育

自然との共生の思想と技術、
まちづくりの創造性と
責任感、社会人としての
資質を磨きます。

充実した環境で
行われる実践教育

地域や自然の立場(環境)を
発見し、空間をデザインし、
設計・施工する実践が
行われています。

教育課程の特徴

修了後の進路に対応する3つの領域をもとに、基礎・応用・発展の3段階の教育が行われます。
すべての教育段階において、演習を主体とした実践的なカリキュラムが特徴です。

① 領域に対応した領域: 3つの専門領域と共通領域

修了生が活躍する領域に対応し、「安全管理領域」「活用デザイン領域」
「施業マネジメント領域」の3つを柱に、専攻全体に共通する「共通領域」を設置しています。

② 基礎、応用、発展の積み上げ

3つの領域において基礎、応用、発展の各科目を配し、個別の知識や技術の習得科目から、より総合化された科目へ段階を経て履修します。

③ 演習中心の教育

全科目のうち約6割が演習です。講義においても、事例研究や討論、現地調査など実践に直結する理論の習得を行います。演習では、調査や管理作業、デザインやワークショップなどの実習を通して技術を修得し、分析や討論を通して理論を習得します。これにより、自立した緑環境景観マネジメント技術者を育成します。



専門職大学院とは

- 研究者ではなく、高度な専門的な知識能力を有する人材を育成
- 研究だけでなく、実践・実務を重視し、高度な実践的な教育
- 研究教員だけでなく、高度な実践能力を有する実務家教員も在籍